

成田空港の更なる機能強化により、これまで以上に町と成田空港との関係が密接となることから、成田国際空港(株)から交付される「成田国際空港周辺対策交付金」を、町ではどのように活用してきたのか、また今後どのように活用していくのかなどを紹介します。

今回は、成田国際空港周辺対策交付金の枠組みをお伝えします。

成田国際空港(株)から交付される「成田国際空港周辺対策交付金」は、公共施設や教育施設等の整備や道路などのインフラ整備、生活環境の改善を行う事業などに活用され、町にとって貴重な財源の一つとなっています。

成田国際空港周辺対策交付金は、4つの枠で構成されています。

成田国際空港周辺対策交付金

令和4年度当初予算額：13億円

※令和4年度一般会計予算総額 約115億円の約10%
令和2年度決算額：13.3億円 令和元年度決算額：4.9億円

①普通交付金・②特別交付金

従来から交付されており、町が航空機騒音対策として実施している「個人(世帯)への補助」や「地区への補助」をはじめ、航空機の騒音障害防止等に関わる事業だけでなく、学校や公共施設の整備、町道の整備などに活用されます。

令和2年4月より新設

③地域振興枠

令和2年度から新設された交付金の枠で、従来からの用途を拡大し、「教育」「医療」「福祉」その他、地域振興を目的とした事業に活用されます。
(住宅取得奨励金や給食費負担金助成金など幅広く活用)

④A滑走路特別加算金

2019年冬ダイヤ(令和元年10月27日から)からA滑走路の夜間運用時間が1時間延長されたことに伴い、新設された交付金で、これから建設されるC滑走路(3本目の滑走路)が完成し、利用開始されるまでの間、A滑走路に係る環境対策事業に活用されます。

成田空港の更なる機能強化に伴い、成田国際空港周辺対策交付金の算定方法の見直しと令和2年4月1日に指定された騒音区域の拡大により、成田国際空港周辺対策交付金が増額されました。令和2年度からこれまでの普通交付金、特別交付金に加え、地域振興枠・A滑走路特別加算金が新設され、騒音対策の充実だけでなく地域活性化策の推進など、より良いまちづくりができるようになりました。

成田国際空港(株)から交付されている成田国際空港周辺対策交付金の活用について、町公式ホームページで公表しています。

横芝光町は、これまでもこれからも安全・安心なまちづくりを推進するため、住環境の保全をはじめとした環境対策に努めるとともに、成田空港との共生共栄を図り、町の活性化に取り組んでまいります。

☎企画空港課空港班 ☎84-1279

次号は、成田国際空港周辺対策交付金を活用した「東陽病院の医療機器整備」をお伝えします。